

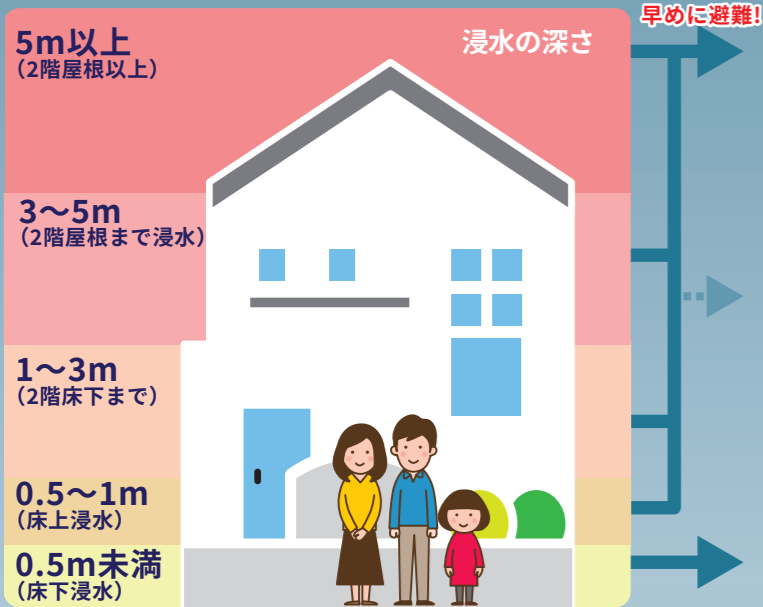
宮崎川 洪水ハザードマップ

この地図に表示されている洪水浸水想定区域や指定避難所などを、日ごろから確認しておきましょう。
 自宅が色のついた範囲にある場合、河川が氾濫すると浸水する恐れがあります。
 市から「避難指示」などの連絡がある時は、直ちに避難しましょう。
 強い雨が降ってきた場合などは、積極的に気象情報を入手しましょう。



ハザードマップを見て、ご自宅の状況と災害時の行動を確認しましょう！

① ご自宅の浸水の状況を確認しましょう



早めに避難！

② 災害時の行動を確認しましょう

5m以上 (2階屋根以上) 浸水の深さ

3~5m (2階屋根まで浸水)

1~3m (2階床下まで)

0.5~1m (床上浸水)

0.5m未満 (床下浸水)

木造の平家、2~3階建の建物に住んでいる場合

すでに浸水が発生、豪雨などで外が危険な場合

自宅がマンションの上階や、浸水する深さより高い場所の場合

※地下は危険！少しの浸水でも「扉が開かなくなる」「階段を上がれなくなる」.....など、危険があります。

着色なし

浸水は想定されていませんが、災害の状況により浸水が想定範囲より大きくなる可能性があります。周辺の状況や気象情報、土砂災害の状況を確認しましょう。

ご自身・ご家族がいつ避難するか、情報から判断しましょう！

5段階の警戒レベル 避難を判断するための防災情報が発令

浸水の深さや建物の種類などによって、避難の仕方が違います。周辺の人と一緒に早めの避難を心がけましょう。

警戒レベル 1・2
気象庁が発表

ハザードマップやマイタイムラインで自分の安全確保行動を確認し、避難に備えよう。

警戒レベル 3 長崎市が発表
危険な場所から高齢者等は避難
高齢者等避難

避難に時間がかかる高齢者、障害のある方、乳幼児等とその支援者は避難を開始しよう。その他の人は避難の準備を整えよう。

警戒レベル 4 長崎市が発表
危険な場所から全員避難！
避難指示

危険な場所にいる人は速やかに安全確保しよう。避難所までの移動が危険な場合は、近くの安全な場所への避難や、自宅内より安全な場所へ移動しよう。

警戒レベル 5 長崎市が発表
命の危険 直ちに安全確保！
緊急安全確保

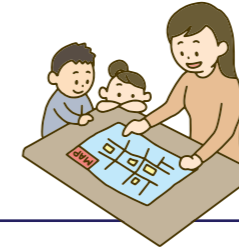
すでに災害が発生している状況。命を守るための最善の行動をとろう。

※警戒レベル5「緊急安全確保」は必ず発令される情報ではありません

災害時の情報の入手先を確認しておきましょう！

日ごろの備え

- ハザードマップを使って、危険箇所を確認しておきましょう
- 市や地域が主催する避難訓練に参加しましょう
- いざというときのために、非常持出品を日ごろから準備しましょう



困ったときの連絡先

長崎市役所 (代表)	あじさいコール (年中無休・8~20時) TEL.095-822-8888
消防 (災害・救急)	TEL.119
警察 (事件・事故)	TEL.110



避難所・避難場所に関する情報の入手先

避難所の開設・混雑状況	災害時に避難所の開設状況や混雑状況を確認できます	長崎市 バカンマップス
市内避難所一覧	市内全ての避難所を確認できます	長崎市 避難所一覧
マイ避難所	マイ避難所シートなど災害への備えとなる情報を確認できます	長崎市 マイ避難所

避難情報・気象情報・災害に関する情報の入手先

避難情報	
防災行政無線	気象情報と避難情報をお知らせします NBCテレビ dボタン→自治体情報→防災・防犯情報 TEL. 050-5530-9908 テレビや電話でも内容を確認できます
防災メール	防災行政無線の放送内容をメールでお届けします 登録方法 ①右のQRコードを読み取り登録する ②下記のメールアドレスに空メールを送る bousai.nagasaki-city@raidenn.ktaiwork.jp その後、返信されるメールにて登録する
長崎市公式LINE	暮らしのお役立ち情報はこちらから 友達登録すると防災・安全情報などを受け取ることができます https://page.line.me/375jkwvx
災害に関する情報	
洪水ハザードマップ	長崎市洪水ハザードマップ
土砂災害ハザードマップ	長崎市土砂災害ハザードマップ
洪水浸水想定区域	長崎県洪水浸水想定区域
津波災害警戒区域	長崎県津波災害警戒区域
土砂災害関連情報など	長崎県防災ポータル
雨量情報	長崎県河川砂防情報システム
河川水位情報	川の防災情報
ダム情報	気象庁
河川監視カメラ映像	ながさきマップ (用途地域、危険区域など)
注意報/警報/特別警報	ながさきマップ
土砂災害警戒情報	
雨量レーダー情報	
など	

※QRコードは(株)デンソーウェブの登録商標です。

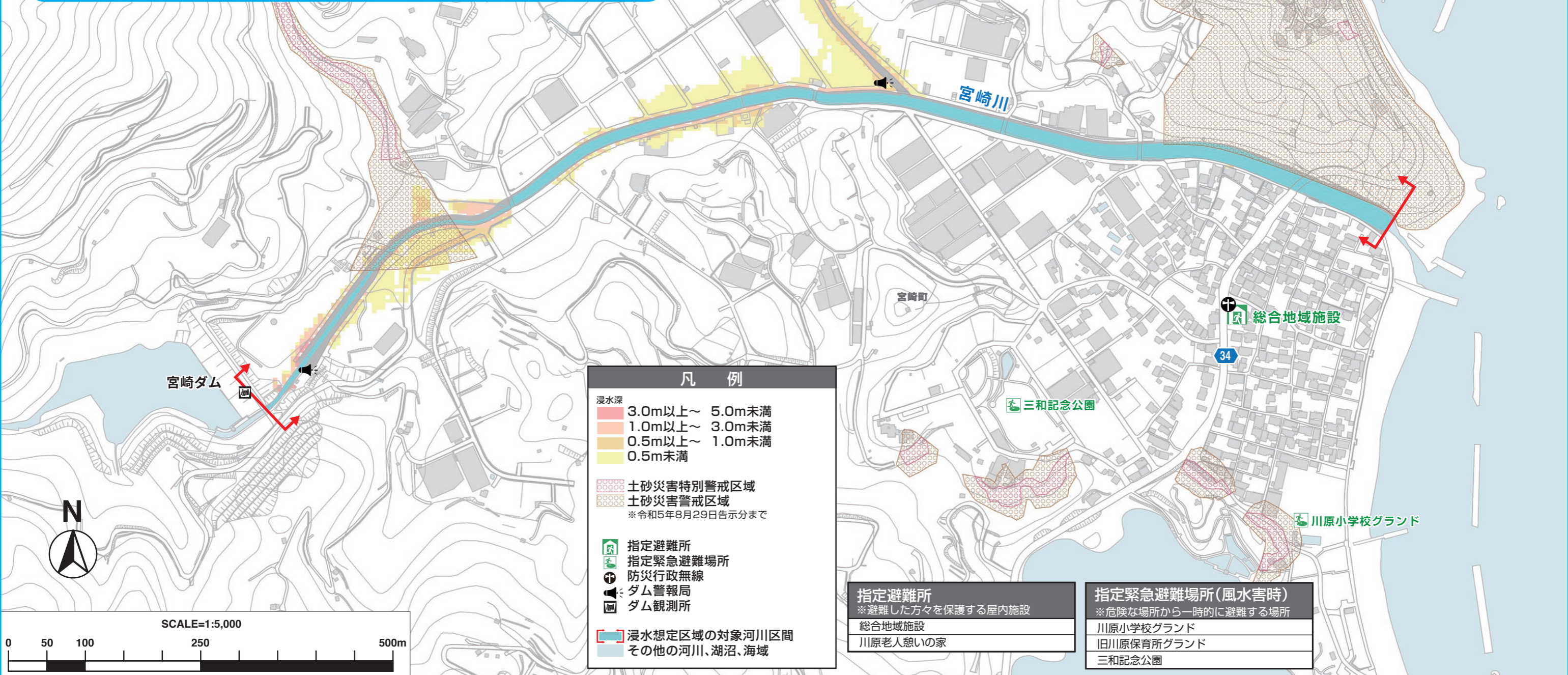
宮崎川洪水ハザードマップ

※最大規模の大雨(昭和57年長崎大水害の約2倍の雨量、24時間雨量1,103mm)を想定した場合の浸水想定区域を表示しています。

①事前放流
ダムでは、台風の接近などにより大雨となることを見込まれる場合に、大雨の時により多くの水をダムに貯められるよう、河川の水量が増える前にダムから放流して、一時的にダムの貯水位を上げておく準備をしています(事前放流)。

②緊急放流(異常洪水時防災操作)
異常な豪雨により、計画規模を超える洪水が来た場合、ダム上流からの水をダムに一部貯めながら放流することで、下流に流れる水量を減らす操作を行います。ダムに貯めることが出来る水量には限界があります。このような場合、ダムの貯水量が満杯になるとダムに貯め込むことができなくなるため、ダムに流れ込んだ量と等しくなるまで放流量を増加させる操作を行います(緊急放流)。

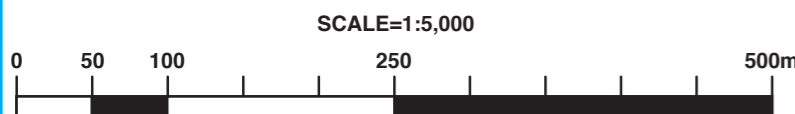
～ダム警報局からの吹鳴～
ダムからの放流による増水に伴う危険性が増している場合、ダム警報局からサイレンを吹鳴します。警報が鳴ったら、直ちに河川から離れて、安全な場所へ移動してください。



凡 例	
浸水深	
	3.0m以上～ 5.0m未満
	1.0m以上～ 3.0m未満
	0.5m以上～ 1.0m未満
	0.5m未満
	土砂災害特別警戒区域
	土砂災害警戒区域
	※令和5年8月29日告示分まで
	指定避難所
	指定緊急避難場所
	防災行政無線
	ダム警報局
	ダム観測所
	浸水想定区域の対象河川区間
	その他の河川、湖沼、海域

指定避難所
※避難した方々を保護する屋内施設
総合地域施設
川原老人憩いの家

指定緊急避難場所(風水害時)
※危険な場所から一時的に避難する場所
川原小学校グラウンド
旧川原保育所グラウンド
三和記念公園



※洪水浸水想定区域は、長崎県が水防法に基づき令和4年7月1日に指定した浸水想定区域図に基づき作成しています。
※このハザードマップは、宮崎川水系宮崎川の氾濫により想定される浸水を示したものであり、この区域外においても浸水が発生する場合や、想定される実際の浸水深と異なる場合があります。

※このハザードマップは、長崎市長の承認を受けて、同市所管の測量成果を複製して作成したものである(承認番号 令和5年度 都計第108号)